

コーパスに見る語形の変異と変化

○前川 喜久夫(まえかわ きくお)
(独)国立国語研究所

(要旨) 現実に観察される言語にはつねに変異が存在している。言語体系を美しく規則化するためには変異が邪魔になるので、従来の理論言語学ではこれを無視することが多かったが、大規模なコーパスの出現により、このような無視を正当化することが次第に難しくなってきた。変異現象を説明可能な言語理論、換言すれば言語の体系と運用を統一的に説明できる理論の構築が望まれる。
